



RK - 55 型

電動ろくろ

取扱説明書



この度は、当社電動ろくろ RK-55 型をご購入いただき、誠にありがとうございます。
お客様が本製品をより安全にお楽しみいただけるよう、以下では使用方法および、
注意事項等を説明しております。この取扱説明書をお読みになり、よくご理解した
上でご使用ください。特に、【安全上のご注意】については必ずお読みください。
この取扱説明書は、ご使用になる方がいつも読める所に保管してください。

据付、運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用してください。

この取扱説明書では、注意事項を「危険」「警告」および「注意」として区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。



危険

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。

- 免責事項について
- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
 - ・地震、当社に責任のない火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失による誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
 - ・保証規定については、付属の保証書をお読みください。

危険



作陶以外の目的で使用しない。

本製品は作陶用ろくろとして、安全にご使用いただけるように設計されていますので、作陶以外での目的に使用しないでください。



自分で分解・修理・改造を行なわない。

感電や発火、異常動作してけがをすることがあります。



本製品に、陶芸材料・機器以外を載せない。

危険ですので、粘土などの陶芸材料等の作陶用機器以外を乗せないでください。



お子様の手の届くところには、設置・保管しない。



本体の転倒や誤使用等によりけがをすることがあります。お子様のご使用になる際には、必ず保護者が監督してください。



アース線を接続する

感電事故を避けるために、必ずアースをしてください。
※感電事故を避けるために4ページの「アースの取付け」を守って必ずアース線を取付けてご使用ください。



付属品などを口に入れない。

小さなお子様部品などを口に入れないようにご注意ください。



ペースメーカー装着者は本製品を使用しない。

ペースメーカーに影響を及ぼすおそれがあります。



隙間にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない。

感電やけがをすることがあります。



素足で作陶しない。

感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけない。

電源コードに傷をつけると、火災や感電の原因になります。万一電源コードが傷んだら、販売店へ交換をご相談ください。

警告



本製品は重いので
取扱には十分に注意する。

誤まって足などの上に落下させると、重傷を負うおそれがありますので、取扱には十分注意してください。



”濡れた手”で操作しない。

濡れた手でスイッチ操作やプラグの抜き差しをすると感電するおそれがあります。



安全に配慮した着衣、格好で作業する。

作業前にマフラー、ネクタイ、スカーフ等は外し、また長い髪は束ねたり、アクセサリー等も外してください。粘土やテーブルに巻かれて負傷するおそれがあります。



ターンテーブルの下に手を入れない。

運転中にターンテーブルの下へ手を入れると、巻き込まれる恐れがあります。



注意



ターンテーブルを持って本製品を持ち上げたり、運ばない。

ターンテーブルが歪んだり、外れて負傷するおそれがあります。



作業前には指輪など貴金属は外す。また、伸びた爪は切る。

指輪や腕時計は外して作業してください。また、伸びた爪で作業しないでください。作品にキズがついたり、貴金属にキズがついたり、爪が割れるおそれがあります。



水平で安定したところに、据付ける。

水平に！



据付け状態が悪いと、振動や騒音が増大される恐れがあります。確実に据付けてください。



電源スイッチがONの状態では本体を持ち上げたり、動かさない。

回転中のターンテーブルを持って上げると、本体が回転したり、手を挟んだりして危険です。また、電源スイッチがONの状態であれば、誤ってターンテーブルを回転させることがあります。



テレビ・ラジオ・アンテナ線などに近づけない。

画像の乱れ、雑音の原因となる場合があります。



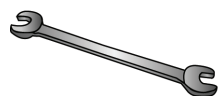
カバー類を外さない。

カバー類を外すと本体内部に、手を詰めるなどの事故の危険があります。カバー類は外さないでください。また、万一外れた場合には、しっかりと取付けてください。

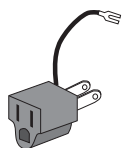
ご確認

★開梱時に本体の他に以下のものが梱包されているか、ご確認ください。

●付属品：



両口スパナ (10 × 13) : 1 個



プラグ変換アダプタ : 1 個

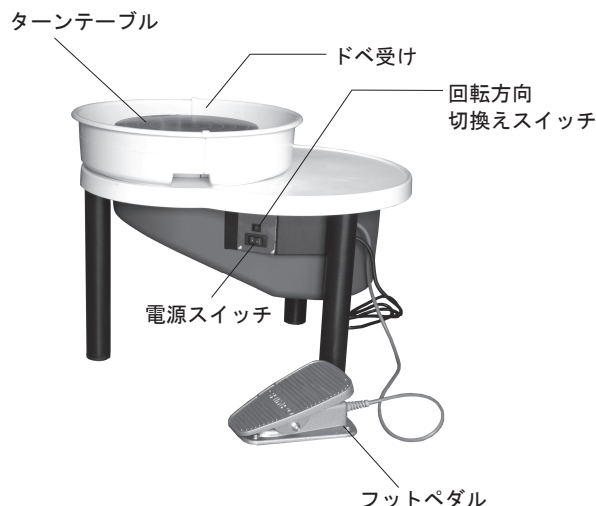


フットペダル : 1 個



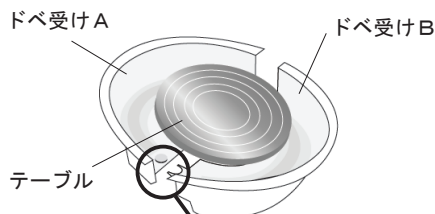
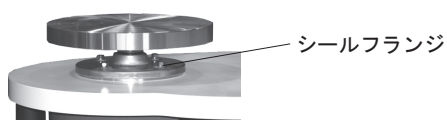
ドベ受け (分割式) : 1 セット

各部の名称



準備

ドベ受けの取付け



図：ドベ受け A, B 合わせ部

ドベ受け A



ドベ受け B

- ①ドベ受けAを、シールフランジの下部に切りこんである溝に差し込みます。
- ②ドベ受けBを、ドベ受けAと同様にシールフランジ下部の溝に差し込みます。
- ③ドベ受けAとBの合わせ部分を左図のようにはめ込みます。

ドベ受けを取り外しを行うときは、電源スイッチがOFFになっていること、または電源コードが抜かれていることをご確認ください。

電源の接続



指定された電圧と周波数以外では使用しない。

指定の電圧を確認し電源プラグをコンセントに差し込んでください。

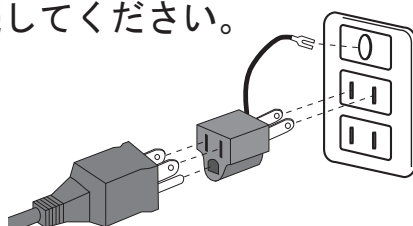


電源スイッチがONの状態では電源プラグをコンセントに差し込まない。

発火・感電の原因になります。



アース付きのコンセントに接続してください。



タコ足配線はしない。

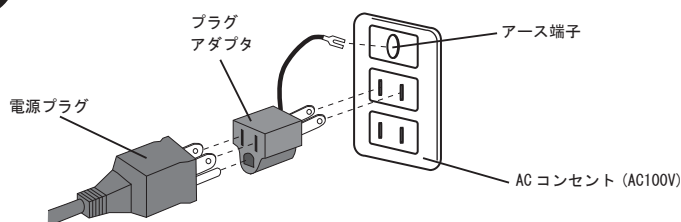
同一コンセントで、他の電気器具の電源に使用すると、過電流が流れ、熱を帯びて火災のおそれがあります。



アースの取付け



感電防止のため、必ずアース線を取付けてください。



- アースはアース付コンセントのアース端子に接続してください。
- ACコンセントが2芯専用の場合はアース工事を行い、プラグ、アダプタ（付属）を使用してください。

注意

次の場所にはアース線を接続しないでください。
 ・ガス管（引火や爆発のおそれがあります）・水道管

ご使用方法

運 転

■注意事項



電源スイッチを切る際には、必ずフットペダルを戻してください。

フットペダルがSTOPの位置にないまま電源スイッチを切ると、次回使用時に電源スイッチを入れてもテーブルが回転しません。



濡れた手でスイッチ操作をしないでください。

濡れた手でスイッチ操作をすると、感電のおそれがあります。



初めてのご使用時は、必ず慣らし運転を行って下さい。
 下記の始動手順にて、フットペダルを最高位置にし、慣らし運転をしてください。

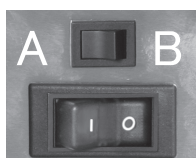
■始動



- ①フットペダルをいっぱいまで戻っていることを確認してください。
- ②電源スイッチを入れます。
- ③電源スイッチが点灯します。



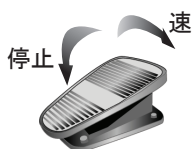
ON OFF



- ④希望の回転方向に切換えスイッチを入れます。

A・・・右回転

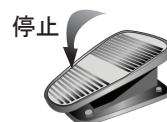
B・・・左回転



- ⑤フットペダルを停止位置から踏み込むとテーブルが回転します。

※フットペダルを踏み込むほどテーブルは速く回り、戻すと遅くなります。

■停止



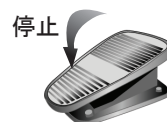
停止

- ①フットペダルをいっぱいまで戻すと停止します。



- ②電源スイッチをOFFにします。

■回転方向の切換え

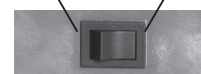


停止

- ①フットペダルをいっぱいまで戻て、停止させます。

回転中に回転方向切換えスイッチを逆回転側に切換えると、テーブルは停止します。ペダルをいっぱいまで戻して再度踏み込むと、逆回転します。

右回転 左回転



- ②回転方向切換えスイッチで切換えます。

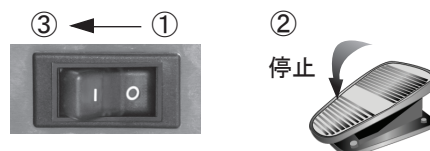
ターンテーブルが回転しなくなったとき

ターンテーブルに過負荷がかかった場合、安全のためモータが停止し、フットペダルでの変速操作ができなくなります。

このような場合には、電源スイッチを一旦 OFF にすることでリセットがかり、もとの状態に戻ります。

過負荷で電源スイッチが落ち、運転を再開させる場合は

- ①モータが停止した状態から
- ②フットペダルを「停止」の位置に戻し
- ③電源スイッチを ON にしてご使用ください。

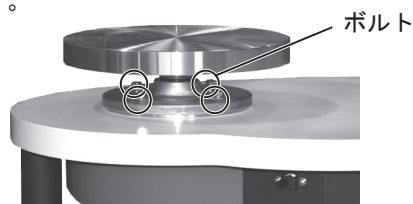
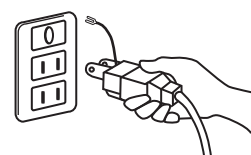
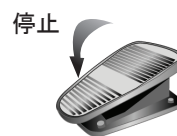


パワーが小さい、本体の中のベルトが滑るのを感じたとき

下記の手順に従ってベルトの張力を調整してください。

ベルト張力の調整方法

- ①フットペダルをいっぱいまで戻してテーブルの回転を止め
- ②電源スイッチを OFF にして、電源コードを抜いてください。
- ③ドベ受けを外し、テーブル下のボルト 4 個を緩めてください。
本体の中のスプリングが自動的にベルト張力を調節します。
※緩めすぎないように注意しながらボルトを緩めてください。
完全に外さないでください。
- ④もう一度ボルトを締めてください。
- ⑤電源コードを差込み、電源スイッチを入れてください。



保 守



電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

掃除・点検・調整・交換の場合や長期間ご使用にならない場合は、電源スイッチを切るだけでなく電源プラグをコンセントから抜いてください。



水洗い厳禁

1. ろくろ自体の清掃は雑巾で拭くようにして、水洗いは避けてください。
2. ドベ受けは水洗いできますが、必ずろくろから外してください。

おかしいな、と思ったら・・・

症状 テーブルが回転しない

原因

電源プラグをコンセントに正しく接続していますか？

電源投入時ペダルが運転側にありましたか？

複数台使用していませんか？

粘土の量が多すぎませんか？

対策

正しく接続してください。

レバーを停止位置に戻してから、電源スイッチを入れお使
いください。(5 ページ)

分電盤のブレーカーが落ちていないか確認してください。

本機は過負荷保護機能が付いており、ターンテーブルに過
負荷がかかった場合、安全のためモータが停止し、レバー
での変速操作ができなくなります。粘土の量を減らしてく
ださい。

症状 回転時に本体から異常音、振動がする。

原因

安定した水平な場所に本体を設置していますか？

粘土の量が多すぎませんか？

粘土をターンテーブルの中心に載せていますか？

運転されず、長期保管状態になっていませんか？

対策

安定した水平な場所に設置してください

本機は過負荷保護機能が付いており、過負荷状態では、異
常な音が発生します。粘土の量を減らしてください。

粘土が中心に乗っていないと、回転が不安定になり、ろく
ろ本体が振動し、異常音が発生しますので、粘土を中心に
乗せてください。

駆動ベルトにブリー形状のくせが付いていると思われます。
レバーを最高速の位置にて振動が無くなるまで、無負荷で
運転し、ベルトのくせを元に戻してください。

症状 ターンテーブルが回転中に停止する。

原因

粘土を載せたままフットペダルを急激に動かしまし
ていませんか？

長時間粘土を載せた状態で回転させていませんか？

電源プラグが抜けていませんか？

本体の電源スイッチは落ちていませんか？

対策

本機は過負荷保護機能により回転を停止することがありま
す。電源スイッチを切ると、リセットされます。

本機は温度保護機能により回転を停止することがあります。
電源を切り、温度が下がるまで待ってから再度使用してく
ださい。

電源プラグをコンセントに正しく接続してください。

再度スイッチを入れてください。再度スイッチが落ちるよ
うであれば、電源プラグを抜き、販売店にお問合せください。

症状 ターンテーブルの回転が逆方向に切換わらない。

原因

ターンテーブル回転中に切換えスイッチを変更しませ
んでしたか？

対策

ターンテーブルが完全に停止してから、切換えスイッチを
操作してください。

※上記の対策で改善されない場合やその他のトラブルに関しては販売店にお問合せください。

仕様

機種	RK-55
電源	50/60Hz 単相 100V (電灯線用)
ターンテーブル回転数	0 ~ 250rpm
駆動機構	ブラシ付 DC モータからベルトを介してテーブルへ動力を伝達
変速機構	リモコン式フットペダル
ターンテーブル回転方向	スイッチ切換えで右回転、左回転いずれも可能
手ろくろとして使用	不可
ターンテーブル	軽合金鋳物 径 300mm
外形寸法	幅 560 × 奥行 720 × 高さ 540mm
質量	23kg
使用環境温度	0 ~ 40°C
使用環境湿度	10 ~ 85%RH (結露なきこと)

ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンボ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました